

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団 令和元年度事業計画

1 事業計画の概要

新しい基本計画（令和元年度～40年度）では、「芸術・文化の3つの価値」（本来的・共同体的・便益的）を実現するため、財団（組織）としてのミッションを5つ策定し、その次に位置づけるべき目標として、各施設を拠点とする事業と、施設管理運営の「ゴール」をそれぞれ決めました。

これら組織のミッションと事業のゴールを達成するためには、長期的な展望に立ち、調布市とのパートナーシップを一層推進し、市民や地域と連携・協働しながら、これまで以上に丁寧に時間をかけて事業に取り組む必要があることから、計画期間を10年としました。また、令和元年度から、財団はせんがわ劇場の指定管理者となるため、たづくり、グリーンホールと合わせ、3施設を一体的に活用する事業展開が可能となりました。

令和元年度は、計画期間が10年となったことの時間的メリットと、3施設の一体的活用による規模的メリットを活用し、以下のような観点から事業に取り組みます。

第1に、事業運営では、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の機運醸成とレガシー継承に向け、独自テーマ「100年後の君へ。」のもと、「たづくりアスリートワンダーウォール！」をはじめとして、美術振興事業、芸術振興事業、映像文化・メディア芸術事業、芸術・文化学習事業、地域コミュニティ活性化事業などを実施します。

ラグビーワールドカップ2019と東京2020大会を一過性の祝祭に終わらせず、一つひとつの事業を丁寧に積み重ね、そこから生まれた市民や地域との信頼関係をレガシーとして、着実に継承していきます。

また、せんがわ劇場が新たな施設として加わり、芸術振興事業の可能性が広がったことで、市民参加演劇など自主制作事業に取り組みます。また、調布国際音楽祭や映画のまち調布シネマフェスティバルでは、3施設を一体的に活用し、新たなにぎわいを創出します。

第2に、施設管理運営では、アンケートや窓口等の多様な手段を通じて、利用者の声に耳を傾け、可能な限り反映させることで、誰もがアクセスでき、参加しやすい施設を作っていきます。また、少子高齢化等の環境の変化により、今後ますます財政支出の縮減と平準化が求められることから、適切な維持管理による施設の長寿命化と、徹底的な省エネルギー等によるライフサイクルコストの縮減に取り組みます。

第3に、組織運営では、人材育成について、芸術・文化に関する知識を深めるとともに、市との政策連携、市民や地域、関連分野との連携を推進できる総合的なスキルを備えたアートマネジメント人材の育成に取り組みます。自主財源の拡充については、様々な工夫を凝らし、寄附金、協賛金、外部助成金の獲得に努めます。

2 事業内容

基本計画に基づき、組織のミッションと事業のゴール達成に向けて、市内の多彩な人材・団体との連携と協働を強く意識しながら、各事業を展開します。

一方で、市の財政状況や指定管理者制度の本旨を踏まえ、事務・事業の合理化や自主財源の

拡充により、効果的・効率的な組織運営に努めます。

(1) ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会に向けた取組

ア 令和元年度 特徴的な取組

●「ラグビーファンゾーン」

東京スタジアムで開催されるラグビーワールドカップ開催期間中に催される「ホストシティパフォーマンス」では、調布国際音楽祭オープニングの「歓喜のブラス」を、鈴木優人氏率いる学生ブラスと市民合唱団が演奏し、大会を盛り上げます。

イ 事業概要（特徴的な取組を除く）

ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会の機運醸成と、これらの大会を契機に芸術・文化、生涯学習、コミュニティ事業において、次世代への文化の継承、多様性の尊重、地域資源の活用、次世代を担う芸術家・鑑賞者の育成等を推進する観点から各事業を実施します。

文化会館たづくり館内で、世界記録などのアスリートたちにまつわる「驚き」を紹介する「たづくりアスリートワンダーウォール！」をはじめとした事業を実施し、大会に向けた機運醸成を図るほか、「クリエイティブリユースでアート!」、「調布能楽odyssey」では、引き続き2020年に向けて段階的に事業を展開します。また、芸術振興事業、芸術・文化学習事業においては、伝統文化を次世代に伝える公演や講座に取り組みます。このほか、「調布国際音楽祭」、「調布よさこい」、「調布市民文化祭」、「映画のまち調布シネマフェスティバル」など、「2020年に向けた調布市アクション&レガシープラン2018」に記載されている事業については、文化・国際交流の視点も踏まえ、市と連携して取り組みます。さらに、令和元年度下半期からは一連の事業を「Chofu Art Spin」（仮称）として包括し、調布市及び市内各団体と連携しながら、東京2020大会に向けた取組の集大成として、芸術・文化を通じたシティプロモーションに取り組みます。

(2) 美術振興事業

ア 令和元年度 特徴的な取組

●「クリエイティブリユースでアート!」のアウトリーチ事業

地域の産業に触れながら、廃材・端材で創作活動を行う「クリエイティブリユースでアート!」では、社会包摂の視点を取り入れ、市内の様々な方が参加する展覧会を2020年に予定しています。

このため、令和元年度上半期では、教育・福祉施設など、市内各所で体験事業である「フィルム缶にアート!」を引き続き実施します。下半期では、展覧会参加団体に対し、アーティスト等とともに作品制作を行うワークショップを実施します。

●「調布能楽odyssey 破」展示事業

3年計画の2年目を迎える「調布能楽odyssey」では、能面等の展示を行い、美術的見地から能楽への関心を高めます。

イ 事業概要（特徴的な取組を除く）

展示室では、調布市ゆかりの作家や、親子で楽しめる展示企画を実施するとともに、各展示事業の中でギャラリートークや講演会、ワークショップなどを通して、子どもから大人まで、より広くアートに親しんでいただけるプログラム「TAC（T a z u k u r i A r t C o m m u n i c a t i o n）」（以下「TAC」という。）を実施します。リトルギャラリーでは、市内で活躍する作家の作品・コレクションを紹介し、市民の芸術・文化活動の活性化を推進します。

(3) 芸術振興事業

ア 令和元年度 特徴的な取組

●「和心伝心」

伝統芸能を身近に感じ、その魅力を発見するため、伝統と革新の両面を併せ持つ三味線ほか邦楽奏者が一堂に会する公演を実施します。

「調布能楽o d y s s e y 破」

若手出演者を起用して、次世代への継承を図るほか、字幕サービス（日本語・英語）により、初心者向けガイド、聴覚障害者及び外国人来場者への対応に取り組みます。

●「記念公演の実施」

財団やホールの歴史とともに歩んできたシリーズ企画「J a z z F r o m T h e C i t y」では50回目となる記念公演を、文化会館たづくりエントランスを会場としてきた「小さな小さな音楽会」では300回記念となる公演をそれぞれ拡大版で実施します。

●「市民参加演劇」

せんがわ劇場では、演劇事業の自主制作に取り組みます。スタッフ集めに始まり、脚本、演出、大道具製作など様々な作業を積み重ねながら、次世代芸術家、市民サポーター等の力を結集して実施します。

イ 事業概要（特徴的な取組を除く）

地域に密着したホール・劇場として、多彩で親しみやすいプログラムを提供します。親子向け事業を拡充し、舞台芸術の魅力を次世代へ継承していく契機とします。さらに、国籍、年齢、性別、障害の有無、経済的状況等に関わらず、誰もが気軽に参加できる劇場となるよう、事業を推進します。

鑑賞事業にとどまらず、体験事業やワークショップ、講座事業などと連携し、多角的に取り組むことで、幅広い市民が劇場へ足を運ぶきっかけをつくります。

財団が協定を締結しているバッハ・コレギウム・ジャパン（BCJ）や桐朋学園のオーケストラ公演等を実施し、市内の音楽ファンとともに、調布の音楽環境を醸成します。

音楽事業では、鑑賞、育成、地域連携等を網羅した「調布国際音楽祭」を一つの頂点として、新たな舞台芸術の創造と発信を行いつつ、ニーズに対応した公演事業を展開します。

「調布国際音楽祭」では、調布市国際交流協会などと連携し、「国際化」をさらに進展させます。具体的には、地域性を盛り込んだオペラをはじめ、市内学生のブラスと市民合唱

の共演といった市民参加事業、プロと共演し若手奏者を育成するフェスティバル・オーケストラ等、調布でしか体験することのできないオリジナリティに溢れた公演を実施します。また、多くの市民が芸術・文化に触れ、誰もが気軽に参加できるよう、助成金を活用した廉価なオーケストラ公演「フレッシュ名曲コンサート」、漫画を投影しながらクラシックを気軽に楽しめる「生で聴くのためカンタービレの音楽会（ピアノ版）」、「食」と関連づけたコンサートシリーズ、親子で楽しめる読み聞かせコンサートや他館（東京文化会館）と連携した参加型ワークショップを実施します。また、市民を含めた防災意識啓発と対応力向上の観点から、避難訓練コンサートを実施します。

古典・伝統事業の落語では、提携事業を含めて大ホール落語を中核に据えながら、企画性に富んだ「調布寄席」や若手を起用した「たづくりシアター寄席」を行います。

演劇・舞踊事業では、市内の幼稚園保育園児を対象とした「児童劇鑑賞教室」のように、ニーズが高い演目についてはグリーンホール、企画性の高い演目についてはせんがわ劇場といった施設の特性を生かした展開をしていきます。また、幅広いジャンルに対応するため、提携事業を効果的に取り入れます。

舞台芸術を楽しむ市民の育成・支援、発信の拠点として設立されたせんがわ劇場での事業については、指定管理者となった初年度として、劇場の運営プランを継承し、せんがわ劇場の舞台芸術事業と仙川地域との絆を継承し、さらなる発展を目指します。

具体的には、演劇の自主制作や市内小中学校などへのアウトリーチ事業など、次世代芸術家や市民サポーターと連携しながら実施します。

(4) 映像文化・メディア芸術事業

ア 事業概要

撮影所をはじめとする映画・映像関連企業が集積する「映画・映像がつくられるまち」として、シネマコンプレックスと連携し、より広く、より深く、映画・映像を楽しむ機会を創出するため、「映画のまち調布シネマフェスティバル」を中心とした各種、映画・映像関連事業を実施します。

イ 映画のまち調布シネマフェスティバル

平成30年度から「映画・映像がつくられるまち」である調布の強みを生かし、映画関連企業・協力団体等との連携・協力のもと、長年続いた「調布映画祭」は、「映画のまち調布シネマフェスティバル」として生まれ変わりました。市民投票により選出されたノミネート作品から、技術賞を授与する「映画のまち調布賞」を中心に、その受賞作や往年の名画を上映するほか、トークショー、ワークショップ、関連展示等を実施します。

ウ 調布シネサロン

通年で実施している「調布シネサロン」は、「映画のまち調布」として気軽に大スクリーンで映画の魅力を知る上映会として実施します。音声のない古き時代の映画（無声映画）を活動弁士・生演奏付きで上映するほか、35ミリフィルムによる音楽映画作品などを上映します。また、文化庁等との共催で国立映画アーカイブ（旧東京国立近代美術館フィルムセンター）所蔵の映画フィルムを上映する優秀映画鑑賞推進事業を活用し、後世に残すべき名画の上映も行います。シネマコンプレックスでは上映できない35ミリフィルム作品の上映を実施することにより、フィルム映画の魅力伝えるなど、幅広い市民ニ

ーズに応えた事業を展開します。

(5) 文化祭事業

日々の芸術・文化活動及び生涯学習活動の発表の場とするとともに、市民と相互に連携し、文化交流やコミュニティ意識の醸成を図る場として引き続き、調布市、調布市教育委員会及び調布市文化協会とともに「第64回調布市民文化祭」を実施します。

また、長年にわたり育まれた調布の芸術・文化の財産を次世代につなげていくためにも、若年層の参加を促すよう、広報活動に努めます。

(6) 地域コミュニティ活性化事業

地域での交流を活性化させるための手段として、よさこい踊りを通じたコミュニティの醸成を図ります。今年で17回目を迎える「調布よさこい2019」では、昨年に引き続き、調布市観光協会と連携した取組や調布よさこいの認知度向上を図るため、ワークショップやフォトコンテストなどを実施するほか、市内各地域で展開する「出前よさこい」などの普及事業や講師派遣、楽曲、鳴子の貸出し等の支援事業を通年で実施します。また、よさこい流し踊りは、新たなコンテンツの導入や「東京五輪音頭ー2020ー」とのコラボレーションにより、東京2020オリンピック・パラリンピックへの気運醸成となるよう取り組みます。

また、「地域コミュニティ推進事業」を実施し、市内の地域団体等が主催するイベントへの参画や助言、地域の実情に合わせた環境づくりをサポートします。

(7) 芸術・文化学習事業

ア 令和元年度 特徴的な取組

大学連携の多様化に伴い、「ちょうふ市内・近隣大学等公開講座」を発展的に終了し、ちょうふ市民カレッジや芸術振興事業、映像文化事業等の中で、様々な形で大学連携に取り組みます。

イ 事業概要（特徴的な取組を除く）

「ちょうふ市民カレッジ」では、引き続き東京2020大会を見据え、伝統文化を次世代に継承する講座を実施するほか、展示事業、公演事業など、他事業との連携に取り組みます。また、受講生のニーズを的確に捉え、文化会館たづくりだけでなく、グリーンホールやせんがわ劇場などを会場として実施しながら、自主財源の確保に取り組みます。さらに、市民の力を活用する講座を実施し、市民が芸術・文化活動に取り組む機会を提供します。

美術展関連文化講演会については、都内または近郊の美術館で開催される展覧会の主催団体と連携し、市民の学習ニーズに応える事業を実施します。

(8) 活動支援事業

地域イベントをサポートするため、椅子やテーブルなど様々な用具・設備の貸出しや後援名義の使用を許可することで、市民の芸術・文化活動を支援します。

(9) 広報・宣伝活動

広報活動については、財団や各館の施設、施設利用者だけでなく、調布市内の芸術・文化に関する情報を包括的に担い、市全域の文化・芸術の振興を図っていくことにより、今後は文化プラットフォームの形成を目指します。

宣伝（プロモーション）活動では、対象となるターゲットを見据えたアウトリーチイベントや公開リハーサル、体験イベントなどの関連企画、チラシやリーフレットの配布のほか、SNS、新聞広告欄や催事情報欄、専門雑誌、フリーペーパーなどのマスメディアを通じて多種多様なアプローチを展開します。

(10) コミュニケーション活動

有料友の会制度「ぱれっと倶楽部」は、発展的に解消し、調布市民なら誰でも無料でサービスを受けることができる「ちょうふアートプラス」にリニューアルします。このサービスは、調布市が掲げる「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、様々なアートを暮らしにプラスしながら、子どもから大人、障害の有無にかかわらず、すべての調布市民が、それぞれにあった活動を通して、豊かな芸術・文化を育むまちづくりを推進するものです。

情報発信においては、武者小路実篤記念館、調布市郷土博物館との連携を開始し、市民が芸術・文化情報を一元的に取得できるような環境の整備に取り組みます。

また、日頃から芸術・文化団体だけではなく教育、福祉などの社会的な分野や、商業、観光などの分野とも連携し、地域の多様な人材・団体とコミュニケーションを深め、広義のマーケティング活動を行いながら、新たな価値の創出に努めます。

(11) 施設管理運営

人々が自然に寄り集う施設となることを目指すため、窓口やアンケートなど多様な手段を通じて寄せられる意見を大事にし、可能な限り利用者の声を反映させます。また、調布市の計画に基づきバリアフリーを推進し、障害者等から要望があった際には、合理的配慮を行うことで、誰もがアクセスでき、参加しやすい施設運営を行います。

施設のライフサイクルコスト縮減のため、空調・照明設備の運用を絶えず検証し、省エネルギー化を推進するとともに、設備の劣化状況を踏まえ、部品交換等を適切に実施することで、建物全体の長寿命化を図っていきます。文化会館たづくりでは、エレベーターの待ち時間のストレス軽減を図る「エレベーターホール・アートプロジェクト」を実施します。

(12) 人材育成

芸術・文化に関する専門的知識と、経営管理に関するスキルを併せ持つ「アートマネジメント人材」に求められる能力は、劇場法の制定と文化芸術基本法の改正により、従来にも増して深められ、かつ拡大しています。

今後10年を展望し、東京2020大会の機運醸成とレガシー継承へ向けて、引き続きアートマネジメント人材の育成に取り組むため、芸術・文化分野の実務研修と、職層に応じた組織力・人材力を強化するための研修を体系的に実施していきます。

また、障害者差別解消法の施行、ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会の開催を踏まえ、国籍、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、すべての人が利用しやすい公立文化施設を目指すため、ダイバーシティ（多様性）への理解を深め、施設運営や事業展開に反映できるよう、研修を実施していきます。

「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」はもとより、市の総合計画など、基本的な施策を踏まえた事業展開をしていくために、調布市の所管課と緊密に連携し、方向性を確認・調整しながら、職員の育成を推進していきます。

4 実施事業の内容

※ 事業区分について

- 指定管理事業 当財団が指定管理者として実施する事業
 共催等事業 当財団が芸術・文化に携わる団体等と共に実施する事業
 独自事業 当財団が独自で実施する事業
 受託事業 当財団が市から受託する事業

(1) 共催等事業・独自事業（コミュニケーション事業）

ア 芸術振興事業

定款第4条 事業名	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他 目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
音楽祭事業	<p>【目的】 文化会館たづくり グリーンホール せんがわ劇場 ほか</p> <p>【内容】 市民参加型の音楽祭として、市民の愛好家のミニステージから世界を代表するアーティストのコンサートまで幅広いプログラムを実施する。また、子ども向け事業やアウトリーチ事業と連携した展開を図る。 更に、鑑賞型の事業だけではなく、音楽祭のコンセプトの一つである「次世代への継承」を実現するため、「フェスティバルオーケストラ公演」として演奏者を公募して実施する。</p> <p>【費用】 参加費は実費負担、鑑賞は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【31年度予定】 調布国際音楽祭2019 ・オペラ（コンサート形式） ・室内楽公演 ・フェスティバルオーケストラ公演 ・子ども向け音楽公演 ・市内音楽愛好家による公演（公募制） ・市内アウトリーチ事業（連携事業）</p> <p>【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール、深大寺 ほか</p> <p>【集客戦略】 ・独自事業で実施している市内アウトリーチ事業や協定事業を実施している団体と連携を図り、幅広い層の集客に努める。</p>	1回	22,422	独自事業
市内アウトリーチ事業	<p>【目的】 市内各地域における芸術・文化の普及と、当財団の更なる認知度向上を図る。</p> <p>【内容】 市民が気軽に芸術・文化に触れる機会を提供するため、市内各地域に出向いて事業を実施する。 事業内容は、文化会館たづくり及びグリーンホールの事業に関連したものを中心とすることで、当財団のPRも併せて行う。 実施に当たっては、地域団体と連携し、芸術・文化をとおした地域コミュニティ活性化を</p> <p>【費用】 無料(一部有料あり)</p> <p>【31年度予定】</p>	12回	875	独自事業

	<ul style="list-style-type: none"> 出張ステージ（音楽会、映画上映会等） 出前寄席（落語会） <p>【会場】 市内各地域</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域のニーズを把握し、地域団体の協力を得て、各地域への細やかな宣伝を実施する。 			
共催等事業	<p>【目的】</p> <p>芸術・文化に携わる団体等と事業を共に実施し、市民の芸術・文化活動を後援することで、より一層の市民の芸術・文化の普及を図る。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 共催事業 調布市及び関連団体、他自治体や財団等との共催により実施する。 協定事業 調布市にゆかりのある芸術団体等と協定を締結し、年間を通して公演やワークショップ等を実施する。 提携事業 当財団の自主事業の企画意図に沿うもの、自主事業を補完することのできるものを民間団体等と提携して実施する。 <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 共催事業 調布よさこい2019 調布国際音楽祭2019 映画事業 第64回調布市民文化祭 武者小路実篤記念館共催展示 協定事業 バッハ・コレギウム・ジャパン 調布市民歌舞伎 桐朋学園オーケストラ 提携事業 美術展関連講演会 等 <p>【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール及び市内全域</p>	30回		共催等事業

イ 映像文化事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
映画事業	<p>【目的】</p> <p>「映画のまち調布」を推進するため、調布における映画の歴史及び映像文化に親しむ機会を提供し、地元根ざした芸術・文化の振興を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>調布市との共催事業とする。企画運営は、当財団を事務局とした、調布市、市内映画関連企業等で構成された実行委員会が行う。</p> <p>映画関連企業・協力団体等との連携・協力のもと、市民投票により選出されたノミネート作品から、技術賞を授与するほか、受賞作の上映、トークショー、ワークショップ、関連展示等を実施する。</p> <p>【費用】</p>	1回	17,986	共催等事業

<p>入場料は参加しやすい価格設定とする。(一部展示などのイベントは無料)</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画のまち調布 シネマフェスティバル <p>【会場】</p> <p>文化会館たづくり, グリーンホール ほか</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布市や市内の映画関連企業などの団体と連携し, 相乗効果が期待できるイベントを同日開催するなど, PRに努める。 			
---	--	--	--

ウ 文化祭事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
調布市民文化祭	<p>【目的】</p> <p>日々活動している芸術・文化及び生涯学習活動の発表の場として, 公開することにより, 市民と相互に連携し, 次世代のための文化交流とコミュニティ意識の醸成を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>調布市, 調布市教育委員会, 調布市文化協会及び当財団が共催で実施し, 運営は市民による調布市民文化祭実行委員会が担う。市内で活動している個人及び団体の参加により出品展示や発表会を行う。</p> <p>【費用】</p> <p>参加者: 出品, 出演に一部費用負担有 観覧者: 無料</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第64回調布市民文化祭 <p>【会場】</p> <p>文化会館たづくり, グリーンホール ほか</p>	1回	4,359	共催等事業

エ 地域コミュニティ活性化事業

定款第4条	(2) コミュニティ活動の振興事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
地域コミュニティ活性化事業(調布よさこい)	<p>【目的】</p> <p>よさこい踊りを通じて, 踊り手, 観客及び地域住民が交流し, 広く市民のコミュニティ醸成を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>よさこい踊りを交流の軸とし, 市民が触れあい, 交流するための大規模なイベントを実施する。</p> <p>当財団と調布市の共催で実施し, 企画運営は市民で構成された実行委員会が行う。また, よさこい踊りの普及や活動を支援する事業や調布よさこいの認知度向上を図る事業を実施する。</p> <p>【費用】</p> <p>無料(一部費用負担有)</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布よさこい2019 <p>市内地域を会場とし, よさこい踊りの演舞披露や実行委員等による企画を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よさこい普及事業 <p>年間を通して, 市内各所で行われる地域イベントに参加し, よさこい踊りの普及を図る。</p>	通年	10,603	独自事業

	<ul style="list-style-type: none"> ・よさこい支援事業 新しくよさこいチームを立ち上げようとしている団体やよさこい踊りを活動に取り入れようとしている団体を対象に、講師派遣及び楽曲、鳴子等の貸出しを行う。 ・よさこい魅力発信事業 ワークショップやフォトコンテスト等の一般参加型のイベントを開催し、調布よさこいの認知度向上を図る。 <p>【会場】 市内</p> <p>【集客戦略】 ・当日の事業だけではなく、よさこい普及事業やキックオフイベントを実施し、集客に努める。</p>			
地域コミュニティ推進事業	<p>【目的】 自主的な地域コミュニティ活動の推進</p> <p>【内容】 ・地域団体が実施するイベントに対して、主に芸術・文化の側面から企画内容のアドバイス、機材の貸出し等の支援を行う。実施に際しては、地域のニーズや実情に合わせて取り組む。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】 10件程度</p> <p>【会場】 市内各所</p>	通年	536	独自事業

オ 活動援助事業

定款第4条	(4) 芸術・文化, コミュニティ, 生涯学習事業への援助, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
コミュニティ用具の貸出し	<p>【目的】 市内で活動する地域コミュニティ, 芸術・文化コミュニティの自主的な活動を支援し, 市民活動の活性化を促進する。</p> <p>【内容】 市内でイベントを主催する団体を対象として机, 椅子, テント等の用具の貸出しを行う。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】 50件程度</p> <p>【会場】 市内</p>	通年	97	独自事業

カ 広報・宣伝・コミュニケーション活動

定款第4条	(5) 芸術・文化, コミュニティ, 生涯学習事業に関する情報の収集及び提供, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
広報・宣伝・コミュニケーション活動 広報活動	<p>【目的】 市内の芸術・文化に関する情報を包括的に担い, 調布市全域の芸術・文化の振興に寄与す</p> <p>【内容】 財団報ぱれっとをはじめとする広報紙の発行やホームページ, パブリシティを通じて市内の芸術文化に関する情報を広く社会に知らせる。 (ア)財団報ぱれっと</p> <p>【内容】</p>	通年	25,566	独自事業

	<p>当財団の事業や施設利用者の発表会，展示の案内など，市内の芸術文化に関する情報全般の広報紙として作成する。市内戸別配布のほか，文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場，その他市内公共施設で配布する。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4ページ発行 8回 ・8ページ発行 4回 <p>(イ)ホームページ，FMを活用した情報の発信</p> <p>【内容】 ホームページやFM放送などを使い，いつでも情報にアクセスできる環境の維持，地域性と公共性の高い情報，市内芸術文化の情報のプラットフォームを目指す。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでのアクセス環境の維持 ・公共性の高く，市内芸術文化のプラットフォームとなる取組 ・施設見学，紹介 			
<p>宣伝活動</p>	<p>【目的】 財団が行う事業を効果効率的にプロモーションし，より多くの市民に参加を促す。</p> <p>【内容】 対象となるターゲットを見据えたアウトリーチイベントや公開リハーサル，体験イベントなどの関連企画，チラシやリーフレットの配布のほか，SNS，新聞広告欄や催事情報欄，専門雑誌，フリーペーパーなどのマスメディアを活用した多種多様なアプローチを展開する。 ※詳細は各事業にて展開</p>	<p>通年</p>	<p>10236</p>	<p>独自事業</p>
<p>コミュニケーション活動</p>	<p>【目的】 子どもから大人，障害の有無にかかわらず，すべての調布市民が，それぞれにあった活動を通して，調布市が掲げる「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」のプラットフォームになることを目指す。</p> <p>また，観光，まちづくり，国際交流，福祉，教育，産業など，その他の各関連分野における施策と有機的に連携し，新たな価値の創出を目指す。</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新制度「ちょうふアートプラス」へのスムーズな移行と広報活動 ・市内各分野との有機的な連携 <p>調布市教育委員会，調布市国際交流協会，調布市社会福祉協議会，調布市観光協会，調布市商工会ほか</p>	<p>通年</p>	<p>1063</p>	

(2) 文化会館たづくり事業（指定管理事業）

ア ラグビーワールドカップ及びオリンピック・パラリンピックに向けた取組

定款第4条 事業名	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他 目的・内容等	回数等	予算額 (千円)	事業区分
ラグビーワールドカップ及びオリンピック・パラリンピックに向けた取組	<p>【目的】 ラグビーワールドカップ2019, 東京2020大会の機運を醸成し, また, これらの大会を契機に芸術・文化, 生涯学習, コミュニティ事業において, 次世代への文化の継承, 多様性の尊重, 地域資源の活用, 次世代を担う芸術家・鑑賞者の育成を図る。</p> <p>【内容】 「100年後の君へ。」をテーマに, ラグビーワールドカップ2019, 東京2020の大会を踏まえて, 各種事業を展開する。 また, 調布市と連携を図りながら, 総合的なPR活動に努める。</p> <p>【費用】 一部有料事業あり</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たづくりアスリートワンダーウォール! ・クリエイティブリユースでアート! 市内アウトリーチ (ワークショップ) ・調布能楽odyssey 破 (公演, 講座, 展示, アウトリーチ) ・古典・伝統分野の公演 ・古典・伝統分野の講座 ・調布国際音楽祭2019 ・調布よさこい2019 ・第64回調布市民文化祭 ・映画のまち調布 シネマフェスティバル ・Chofu Art Spin (仮称) <p>【会場】 文化会館たづくり グリーンホール せんがわ劇場 ほか</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市との連携, 広告代理店等を活用した大規模PR ・その他, 個別事業それぞれの販売戦略に準じる。 		15,000	指定管理事業

(2) 文化会館たづくり事業（指定管理事業）

ア 美術振興事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
美術振興展示	<p>【目的】 年間を通じて様々な展示を行い, 芸術鑑賞の場を提供し, 市民の芸術・文化への関心や理解を深める。 また, 作品の展示を通して市民の芸術・文化活動の活性化を図る。</p> <p>【内容】 調布市ゆかりの作家や新進気鋭のアーティスト等の展覧会を開催するとともに, ワークショップやギャラリートークを行い, 将来の担い手である若年層を主対象に, 作品の理解を深める機会(TACプログラム)を実施する。あわせて, 2020年に予定している, 市内の廃材・端材を使用した展覧会に向けて, 市内各所でワークショップを行う。 また, 通路壁面の展示スペースを使って市民の優れた作品を展示する。</p> <p>【費用】 無料(一部ワークショップは材料費等の徴収あり)</p> <p>【31年度予定】 ・写真展 ・切り絵絵本原画展 ・能楽展 ・郷土博物館共催展 ・市内平面作家展 ・「クリエイティブリユースでアート!」関連市内ワークショップ ・リトルギャラリー作品展(6回)</p> <p>【会場】 文化会館たづくり グリーンホール せんがわ劇場 ほか</p> <p>【集客戦略】 ・ソーシャルネットワーキングサービスを利用した視覚的情報の拡散。 ・若い世代向けに, インターネット等での有料広告を使った宣伝を行う。 ・子ども・若者向け展示や市内作家の展示に当たっては, 市内のアート団体や子育て団体のネットワークを利用した宣伝を図る。 ・ワークショップやギャラリートークなどのTACプログラムを充実させ, 展示への興味を高める。 ・公演事業や講座事業と連携した企画により, 来場者の裾野の拡大を図る。</p>	12事業	13,638	指定管理事業

イ 芸術振興事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
音楽事業	<p>【目的】 良質な音楽を提供し, 芸術・文化の体験を伴うことで, より一層の芸術・文化の向上を図る。</p>			指定管理事業

	<p>また、気軽に音楽を鑑賞できる機会を提供するとともに、音楽活動を行う市民や音楽大学等の学生、若手の演奏家に発表の機会を提供し、演奏者の育成を図る。</p> <p>【内容】 参加者世代のニーズに合わせた親しみやすいコンサートを実施する。 また、エントランスホールでは、気軽に音楽鑑賞ができる場として、1時間程度の音楽会を行う。</p> <p>【費用】 公演の入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【31年度予定】 ・ファミリーコンサート ・平日・昼間のコンサート ・平日・昼間のサロン講座 ・エントランスホール音楽会 9回</p> <p>【会場】 くすのきホール（文化会館たづくり2階） エントランスホール（文化会館たづくり1階）</p> <p>【集客戦略】 ・図書館と連携し、絵本の朗読と音楽を組み合わせた内容の公演を実施し、ファミリー層の参加拡大を図る。 ・エントランス音楽会では、300回記念特別編を実施するほか、親子向け事業を実施することで、客層の拡大を図る。</p> <p>【その他】 エントランス音楽会のうち1回は300回記念として、くすのきホールで実施する。</p>	12回	3,298	
演劇古典舞踊事業	<p>【目的】 良質な舞台芸術・伝統芸能を提供することで、芸術・文化に触れる機会をつくり、より一層の芸術・文化の向上を図る。</p> <p>【内容】 若い世代が演劇や伝統芸能に親しむ機会を提供する。内容に合わせた会場を使用し、鑑賞者と演者との距離を近づけ、より臨場感ある日本の優れた伝統芸能の鑑賞機会を提供する。</p> <p>【費用】 公演の入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【31年度予定】 ・新進噺家落語公演 ・能楽ワークショップ付き公演 ・ファミリー向け演劇公演 ・バックステージツアー</p> <p>【会場】 くすのきホール（文化会館たづくり2階） むらさきホール（文化会館たづくり1階） 映像シアター（文化会館たづくり8階）</p> <p>【集客戦略】 ・東京2020大会を見据え、日本の伝統的な実演芸術の拡大・普及に向けた公演を実施する。 ・他事業と連携した事業展開を図り、顧客獲得に努める。</p>	6回	3,337	指定管理事業

提携事業	<p>【目的】 芸術・文化に携わる団体等と、事業を共に実施することで、より一層の市民の芸術・文化の普及を図る。</p> <p>【内容】 積極的な提携先誘致を行うことで、課題解決に取り組む。当財団の自主事業の企画意図に沿うもの、自主事業を補完することのできるもの、宣伝効果の高い自主事業と関連するものを民間事業者等と提携して実施する。</p> <p>【費用】 有料（一部無料） 当財団と調布市の共催とする。企画運営は、当財団を事務局とした、調布市、市内映画関連企業等で構成された実行委員会が行う。 映画関連企業・協力団体等との連携・協力のもと、市民投票により選出されたノミネート作品から、技術賞を授与するほか、受賞作の上映、トークショー、ワークショップ、関連展示等を実施する。 ・調布市民歌舞伎</p> <p>【会場】 文化会館たづくり</p> <p>【集客戦略】 ・市民ニーズの高い内容の事業を積極的に誘致する。</p>	1回	1004	共催等事業
イメージアップ事業	<p>【目的】 施設全体のイメージアップを図る。</p> <p>【内容】 エントランスホールのライトアップや、エントランスを活用したイベントを行う。事業のほか、施設管理及び広報等、各部署が連携して必要に応じて実施する。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】 ・事業と関連したエントランスライトアップ ・安心、快適な施設運営</p> <p>【会場】 文化会館たづくり ほか</p>	通年	322	指定管理事業

ウ 芸術・文化学習事業

定款第4条 事業名	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他 目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
ちょうふ市民カレッジ	<p>【目的】 芸術・文化の学習の場を提供することにより、市民自らが文化を創造する契機とすることで、調布市における芸術・文化の振興を図る。</p> <p>【内容】 美術、音楽、映像、演劇古典舞踊など、市民が芸術・文化の教養を深める機会となる場を提供する。 大学教授の講師陣を中心に、質の高い講座を参加しやすい価格で開講する。 また、子どもを対象とした伝統体験講座や親子で参加できる講座を実施し、次世代への芸術・文化の振興を行う。</p> <p>【費用】 講師謝礼及び材料費等の実費</p> <p>【31年度予定】</p>	22講座	10,400	指定管理事業

	<p>期間：前期・通年（４～９月又は３月）， 後期（１１～３月），単発（随時） 講座分野：音楽，演劇古典舞踊，映像，美術 （座学，実技），未来こども育成 【会場】 文化会館たづくり及び館外 【集客戦略】 ・申込方法や時期を見直し，より受講しやすい体制を整える。 ・講座ごとにターゲットを絞り，人気講師による広い会場での講座の実施により，リピーターを獲得する。 ・東京２０２０大会に向けて関心が高まると予想される，伝統文化やメディアアートに触れられる講座を幅広く開講する。 ・他事業や大学との連携を深め，市民のさまざまなニーズに合わせた企画や宣伝を工夫する。 ・未来こども育成講座は，市内団体と協力して実施するとともに，他事業との連携等により講座終了後の発表の場などを提供し，講座の魅力を高める。</p>			
市民講師講座	<p>【目的】 地域に根ざした芸術・文化を目指し，芸術・文化の分野で市民の持つ力を生かすとともに，地域の芸術・文化で活躍する場を提供する。 【内容】 公募審査を行い，専門性の高い芸術・文化講座を指導できる市民を講師として選定する。講座は，ちょうふ市民カレッジにより市民に提供する 【費用】 市民講師：応募及び審査は無料 受講生：講師謝礼及び材料費等の実費 【３１年度予定】 期間：前期・通年（４～９月又は３月）， 後期（１１～３月），単発（随時） 講座分野：音楽，演劇古典舞踊，美術等 【会場】 文化会館たづくり 【集客戦略】 ・質の高い講座を提供するため，講師の選定時における審査をはじめ，講座の組立てに関して講師にアドバイスするなど，職員は市民ニーズを把握した講座づくりに努める。</p>	6 講座	-	指定管理 事業
提携講演会	<p>【目的】 芸術・文化に携わる団体等と，事業を共に実施することで，より一層の市民の芸術・文化の普及を図る。 【内容】 積極的な提携先誘致を行うことで，課題解決に取り組む。当財団の自主事業の企画意図に沿うもの，自主事業を補完することのできるもの，宣伝効果の高い自主事業と関連するものを民間事業者等と提携して実施する。 【費用】 無料 【３１年度予定】 ・美術展関連文化講演会 【会場】</p>	4 回	385	共催等事業

	文化会館たづくり グリーンホール 【集客戦略】 ・市民ニーズの高い内容の事業を積極的に誘致する。			
--	---	--	--	--

エ 活動支援事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
サークルロッカー貸出し	<p>【目的】 文化会館たづくりを活動の拠点として芸術・文化, コミュニティ, 生涯学習活動を行う市内の団体を支援し, 活性化を図る。</p> <p>【内容】 文化会館たづくり内に設置しているサークルロッカー及びレターボックスの貸出しを行う。より多くの団体が公平に利用できるよう貼紙やホームページ等でサービス周知に努める。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】 第13期(平成32年度～)の利用抽選実施</p>	通年	505	指定管理事業
印刷機貸出し	<p>【目的】 市内にある公共機関(文化会館たづくり, グリーンホール, 公民館, 児童館等)を活動の拠点として芸術・文化, コミュニティ, 生涯学習活動を行う市内の団体を支援し, 活性化を図</p> <p>【内容】 印刷機, 裁断機, 紙折機の利用提供を行う。印刷機の使用には, 事前の印刷機講習を行い, 修了証を発行する。</p> <p>【費用】 印刷機講習会及び印刷機利用とも無料 製版のみ1枚につき100円</p> <p>【31年度予定】 印刷機講習会は毎月1回実施</p> <p>【会場】 印刷室(文化会館たづくり11階)</p>	通年	694	指定管理事業
焼成援助	<p>【目的】 市民の自主的活動を援助する。</p> <p>【内容】 陶芸作品の素焼き, 釉(ゆ)掛け, 本焼きを行う。</p> <p>【費用】 作品のサイズにより異なる。</p> <p>【31年度予定】 9月及び2月</p> <p>【会場】 作品受付: 財団管理事務室前(文化会館たづくり7階) 施釉(せゆう): 第2創作室(文化会館たづくり11階) 焼成: 陶窯室(文化会館たづくり地下1階)</p>	2回	1707	指定管理事業
後援事業	<p>【目的】 市民の芸術・文化活動の社会的信用と活動の公共性を高めることで, より一層の市民の芸術・文化の普及を図る。</p> <p>【内容】</p>	通年	-	独自事業

	当財団がその趣旨に賛同する市民による芸術・文化活動に対して、広報物等での名義使用を許可する。			
--	--	--	--	--

オ 施設管理運営

定款第4条	(6) 受託する施設の管理運営, (7) その他, 2 収益事業	回数等	予算額 (千円)	事業区分
事業名	目的・内容等			
調布市文化会館たづくり施設管理運営	<p>【目的】 市民の芸術・文化の振興を図る。</p> <p>【内容】 調布市文化会館たづくり条例, 同条例施行規則に基づき, 施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に, 利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う</p> <p>【費用】 指定管理者の基本協定に基づく, 調布市文化会館たづくり条例に掲げている金額を上限とした施設利用料金及び附帯設備利用料金等</p> <p>【31年度予定】 施設利用者アンケートを活用した満足度の向上を図る。 ・目標入館者数 187万人 ・目標施設利用率 ホール系: 82% 会議室系: 71%</p>	通年	710,824	指定管理事業
たづくりイメージアップ事業【再掲】	(2)文化会館たづくり事業(指定管理事業)内にて記述	通年		
施設運営の収益事業	<p>【内容】 施設運営の収益事業 ・文化会館たづくり, グリーンホール各施設の目的外貸出し及び施設備品貸出し ・文化会館たづくり1階・2階・7階・8階・10階, グリーンホール1階・2階への飲料自販機の設置 ・文化会館たづくり, グリーンホールで実施される各公演(音楽鑑賞, 芸術鑑賞)の預かりチケットの販売 ・公演, 展示の資料販売(CD, 書籍等) ・文化会館たづくり地下1階, 地下2階の駐車場運営 ・文化会館たづくり1階コインロッカー貸出し ・文化会館たづくり7階コピー機サービス</p>	通年		
施設管理業務	<p>【内容】 文化会館たづくり館内の施設を調布市から行政財産使用許可を得て他団体等が使用している部分と調布市が使用している東館11階及び西館全体の行政使用部分の施設管理業務</p>	通年		
図書館の施設管理業務	<p>【目的】 図書館の適切な管理</p> <p>【内容】 電気, 機械, 空調設備等の施設及びこれに附帯する設備の操作, 維持管理保全や清掃, 警備, 施設, 設備の軽微な補修, 施設運営の維持経費である公共料金の支払を行う。</p>	通年	82,143	受託事業

(3) グリーンホール事業（指定管理事業）

ア 芸術振興事業

定款第4条 事業名	(1) 芸術・文化の振興事業, (7) その他 目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
音楽事業	<p>【目的】 市民の芸術・文化の普及, 振興を目的に良質な音楽事業を展開し, 市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。</p> <p>【内容】 多彩で良質な事業を実施するとともに, 親しみを持てる参加しやすい場を提供する。 東京2020大会に向けて伝統と革新の両面を併せ持つ三味線ほか伝統楽器による事業を実施する。併せて, 子どもや若年層から高齢者のニーズを踏まえたものまで気軽に参加できる事業を幅広く実施する。</p> <p>【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【31年度予定】 鑑賞を主とする事業 ・オーケストラ ・軽クラシックの室内楽 ・声楽リサイタル ・ポピュラーコンサート ・現代邦楽 市民参加事業 ・大ホールでスタインウェイのピアノを弾こう・育てよう ・避難訓練コンサート ほか</p> <p>【会場】 文化会館たづくり グリーンホール せんがわ劇場 ほか</p> <p>【集客戦略】 ・話題性のある企画, 知名度の高い出演者による調布ならではの公演を実施し, ホールへの関心を高める。 ・クラシック音楽への導入契機につながる趣向を凝らした公演を実施し, 新たな顧客を創出する。</p>	9回	31,904	指定管理事業
演劇舞踊 古典事業	<p>【目的】 市民の芸術・文化の普及, 振興を目的に良質な舞台芸術, 古典芸能事業を展開し, 市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。</p> <p>【内容】 幅広い世代が演劇に親しむ機会及び日本の優れた古典芸能の鑑賞機会を提供する。</p> <p>【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【31年度予定】 ・児童劇鑑賞教室 ・落語公演 ・バックステージツアー</p> <p>【会場】 グリーンホール</p>	5回	5,149	指定管理事業

	<p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童劇鑑賞教室は、市内、近隣の幼稚園、保育園と連携して実施する。良質な演目を選定し、利用しやすいチケット金額を維持し、より多くの市内の子どもたちの集客に努める。 ・落語公演では、日本の古典文化を身近に鑑賞する機会として、鑑賞者育成の観点から落語の楽しさなどを伝え、集客につなげる。 			
提携・協定事業	<p>【目的】 市民の芸術・文化の普及、振興を目的に良質で多彩な事業を展開し、市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を図る。</p> <p>【内容】 調布市にゆかりのある芸術団体等と協定を締結し、年間を通して公演やワークショップなどを実施する。東京文化会館と連携してグリーンホール単独では実施が難しい海外の最先端の手法を取り入れたワークショップを実施する。当財団の主催事業の企画意図に沿うもの、自主事業を補完することのできるものを民間事業者等と提携して実施する。</p> <p>【費用】 有料（一部無料）</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定事業 バッハ・コレギウム・ジャパン公開リハーサル 桐朋学園オーケストラ グリーンホール定期 ・オーケストラ ・ポピュラー歌手公演 ・ファミリーコンサート ・音楽ワークショップ ・演劇公演 ・バレエ公演 ・落語公演 ・映画上映付き音楽公演 <p>【会場】 グリーンホール、くすのきホール(たづくり2階) ほか</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源（人材）を活用した公開リハーサル等を定例的に実施し、芸術に親しむ機会をより身近なものとする。 ・提携事業では、事業内容を多様化し、幅広い年齢層の市民を対象とした芸術・文化の一層の普及を図るため、市民ニーズに応じた事業を積極的に誘致し、提携先と協力しながら宣伝活動を行う。他館と連携した音楽ワークショップの実施により集客面での相乗効果をねらう。 	約10回		共催等事業

イ 映像文化事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
調布シネサロン	<p>【目的】 「映画のまち調布」の認知度を高めるため、映画・映像を楽しめるまちとしての事業展開を図る。 良質な映画を提供することで、芸術・文化に触れる機会を通して、鑑賞機会の拡大と映像文化の振興を図る。</p> <p>【内容】 「映画のまち調布」として気軽に大スクリーンで映画の魅力を知る上映会とする。無声映画を活動弁士・生演奏付きで上映するほか、優秀映画鑑賞推進事業を活用して後世に残すべき名画の上映を続ける。</p> <p>【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【31年度予定】 調布シネサロン ・活動弁士・生演奏付き無声映画上映会 当財団と調布市の共催とする。企画運営は、当財団を事務局とした、調布市、市内映画関連企業等で構成された実行委員会が行う。 映画関連企業・協力団体等との連携・協力のもと、市民投票により選出されたノミネート作品から、技術賞を授与するほか、受賞作の上映、トークショー、ワークショップ、関連展示等を実施する。</p> <p>・映写技師が選定した35ミリフィルム上映会</p> <p>【会場】 グリーンホール</p> <p>【集客戦略】 ・他の事業やシネマコンプレックスと連携することで相乗効果を図り、集客につなげる。 ・後世に残すべき名画を上映することで、映画鑑賞者の増加に努める。</p>	10回	2,178	指定管理事業

ウ 施設管理運営

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
調布市グリーンホール施設管理運営	<p>【目的】 市民の芸術・文化の振興を図る。</p> <p>【内容】 調布市グリーンホール条例、同条例施行規則に基づき、施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に、利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う。</p> <p>【費用】 指定管理者の基本協定に基づき、調布市グリーンホール条例に掲げている金額を上限とした施設利用料金及び附帯設備利用料金等</p> <p>【31年度予定】 施設利用者アンケート等により満足度の向上を図る。 ・目標施設利用率 84%</p>	通年	176,828	指定管理事業

(4)せんがわ劇場（指定管理事業）

ア 芸術振興事業

定款第4条 事業名	(1) 芸術・文化の振興事業, (7) その他 目的・内容等	回数等	予算額 (千円)	事業区分
音楽事業	<p>【目的】 市民の芸術・文化の普及, 振興を目的に良質な音楽事業を展開し, 市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。</p> <p>【内容】 鑑賞事業では, 多彩で良質な事業を実施するとともに, 親しみが持てる参加しやすい場を提供する。また, 市民参加型事業では, 子どもも大人も家族で楽しめる事業や舞台芸術活動者としてステップアップを目指す人の発表の機会となる事業を実施する。</p> <p>【費用】 無料 (一部有料)</p> <p>【31年度予定】 鑑賞を主とする事業 ・サンデー・マティネ・コンサート (18回) ・サンデー・マティネ・コンサート・プラス (2回) ・せんがわ劇場ピアノオーディション 受賞コンサート (1回) ・ジャズコンサート (予定) (1回)</p> <p>市民参加事業 ・地域開放プログラム (1回) ・ファミリー音楽プログラム (2回) ・せんがわ劇場ピアノオーディション (1回)</p> <p>【会場】 文化会館たづくり グリーンホール せんがわ劇場 ほか</p> <p>【集客戦略】 ・誰でもクラシック音楽を楽しむことができるよう, 趣向を凝らした公演を実施し, 新たな顧客を創出する。また, 文化会館たづくりやグリーンホール事業へのPRを行うことで, 出演者の編成などステップアップした展開を図る。</p>	26回	5,600	指定管理事業
アウトリーチ事業 (音楽)	<p>【目的】 劇場外で実施する表現活動を通して, 次世代を担う子どもたちが生涯を通じて舞台芸術に親しみ, 舞台芸術とふれあえる体験の機会を提供する。</p> <p>【内容】 市内各施設に音楽家を派遣し, ニーズに合わせて音楽プログラムを実施する。小学生向けには各学年のカリキュラムに合わせて, オーケストラの楽器を解説する。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】 ・保育園・児童館対象, 小学校対象のアウトリーチプログラム 7回</p> <p>【会場】 市内保育園, 児童館, 小学校</p>	7回		

演劇・舞踊事業	<p>【目的】 市民の芸術・文化の普及，振興を目的に良質な演劇事業，市民参加事業を展開し，市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。</p> <p>【内容】 自身が出演する演劇公演への参加ができる市民参加演劇を実施し，演じることの楽しさや舞台芸術への理解を深める機会を提供する。</p> <p>【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親と子のクリスマス・メルヘン（1回10公演） ・市民参加演劇（1回6公演） ・演劇コンクール（1回6団体） ・演劇コンクール受賞公演（2回各7公演） ・伝統芸能ワークショップ おらほ亭せんがわ落語会（1回） <p>【会場】 せんがわ劇場ほか</p> <p>【集客戦略】 市内全域はもとより，市外からも足を運んで小演劇を楽しんでもらえるよう，新たな客層を取り込むことができる広報を心がける。</p>	6回	23,822	指定管理事業
アウトリーチ事業（演劇）	<p>【目的】 劇場外で実施する演劇的身体表現や表現活動を通して，次世代を担う子どもたちが生涯を通じて舞台芸術に親しみ，舞台芸術とふれあえる体験の機会を提供する。</p> <p>【内容】 参加者のコミュニケーション力や表現力を高め，それぞれの個性を生かしながら，他人と共生し豊かに生きるための力を身につけるきっかけとなる事業であり，様々な教育現場や職場等に対応できるよう，親しみやすいプログラムを実施する。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【31年度予定】 第七中学校，はしうち教室（ACW，表現科），緑ヶ丘小学校，調布市立小学校教育研究会児童文化部，デイサービスわかば（西調布店，仙川店），わかば学童クラブ，八雲台小学校PTA&ユーフオー，調布ヶ丘児童館，市民向けワークショップ（西部公民館），ドラマエデュケーションワークショップ（BAM協力）</p> <p>【会場】 市内小中学校，市内公民館，市内児童館 など</p>	65回		
地域連携事業	<p>【目的】 せんがわ劇場を拠点とし，地域の結びつきを強めるとともに，地域の舞台芸術活動を積極的に支援する。</p> <p>【内容】 仙川地域の商店街や学術機関と連携し，せんがわ劇場を拠点にそれぞれの特徴を生かした事業を実施する。</p>			指定管理事業
	<p>【連携先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙川商店街協同組合 ・桐朋学園芸術短期大学 ・白百合女子大学 	3回		

	<p>【費用】 無料（一部有料）</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第33回おらほせんがわ夏まつり in せんがわ劇場（8月第1週の土日） ・2019年度桐朋学園芸術短期大学二専攻合同公演専攻科演劇専攻49期修了公演（1月） ・白百合おたのしみ劇場+単年度企画（11月） <p>【会場】 せんがわ劇場</p>			
提携事業	<p>【目的】 市民の芸術・文化の普及，振興を目的に，良質で多彩な事業を展開し，市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を図る。</p> <p>【内容】 せんがわ劇場の収容人員数を踏まえた，公演やワークショップを実施する。当財団の主催事業の企画意図に沿うものを民間事業者等と提携して実施する。</p> <p>【費用】 有料</p> <p>【31年度予定】 未定</p> <p>【会場】 せんがわ劇場</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を多様化し，幅広い年齢層の市民を対象とした芸術・文化の一層の普及を図るため，市民ニーズに応じた事業を積極的に誘致し，提携先と協力しながら宣伝活動を行う。 	1回		共催等事業

イ 施設管理運営

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業， (3) 生涯学習事業， (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）	事業区分
調布市せんがわ劇場施設管理運営	<p>【目的】 市民の芸術・文化の振興を図る。</p> <p>【内容】 調布市せんがわ劇場条例，同条例施行規則に基づき，施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に，利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う。</p> <p>【費用】 指定管理者の基本協定に基づき，調布市せんがわ劇場条例に掲げている金額による施設利用料金及び附帯設備利用料金等</p> <p>【31年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者アンケート等により満足度の向上を図る。 ・目標施設利用率 87% 	通年	51,000	指定管理事業